

# 伊丹市工業用水道事業経営戦略の中間見直し【概要版】新旧対照

## 投資・財政計画（収支計画）

### 1. 投資試算

#### 1.1 管路（工業用配水管）の計画的な更新・耐震化

##### ① 管路（工業用配水管）の計画的な更新

● 管路（工業用配水管）の整備延長・管路更新率・事業費

	前期 H30 (2018) ~ 2022 (H34)	後期 2023 (H35) ~ 2027 (H39)
整備延長	3,796 m	3,180 m
管路更新率	平均 2.20%	平均 2.18%
事業費	719 百万円	659 百万円

※前期：H30~R3→決算値、R4→現計予算値

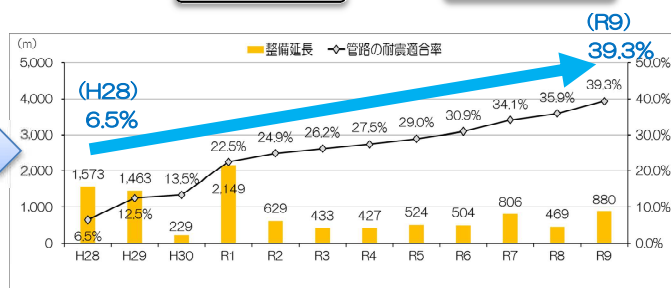
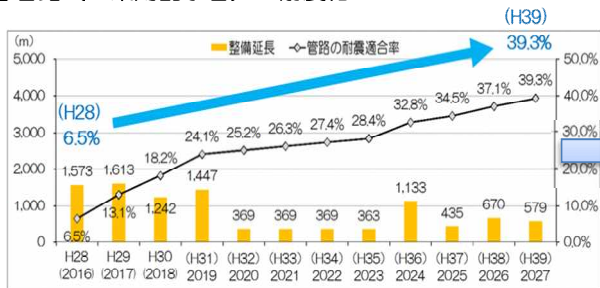
※後期：R5→当初予算案、R6~9→見直し後の計画値

	前期 (H30 ~ R4)	後期 (R5 ~ R9)
整備延長	3,867 m	3,183 m
管路更新率	平均 3.2%	平均 2.5%
事業費	893 百万円	504 百万円

+ 174 百万円

▲ 155 百万円

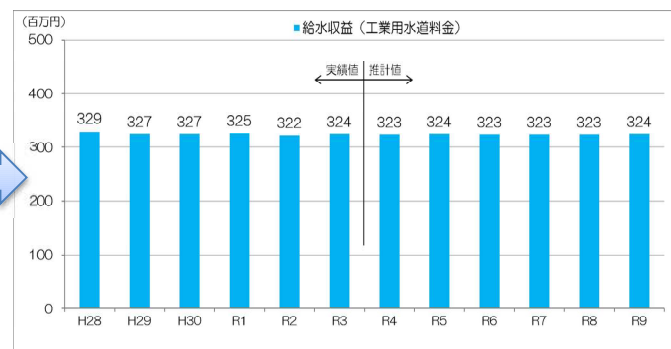
##### ② 管路（工業用配水管）の耐震化



### 2. 財源試算

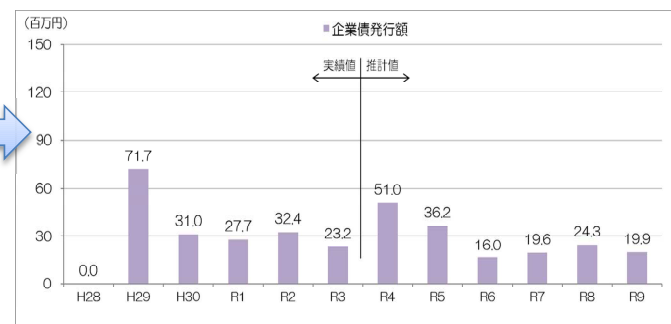
#### 2.1 給水収益（工業用水道料金）

● 給水収益（工業用水道料金）の見通し

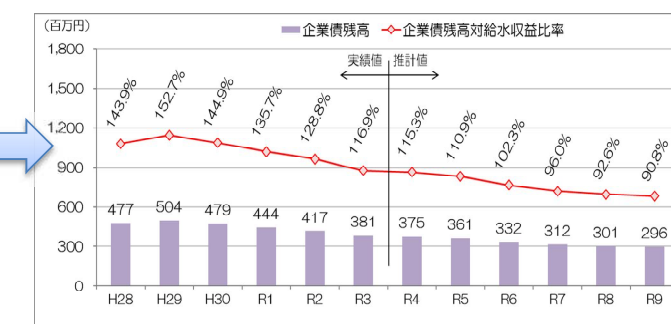
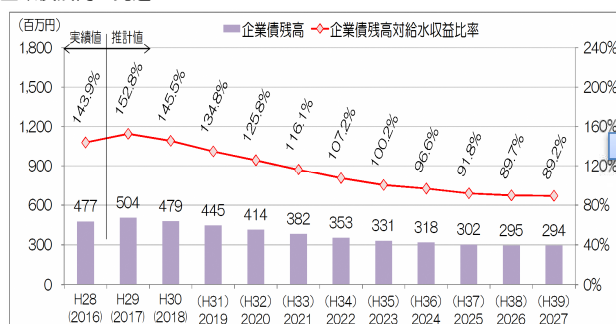


#### 2.2 企業債

● 企業債発行額の見通し



● 企業債残高の見通し

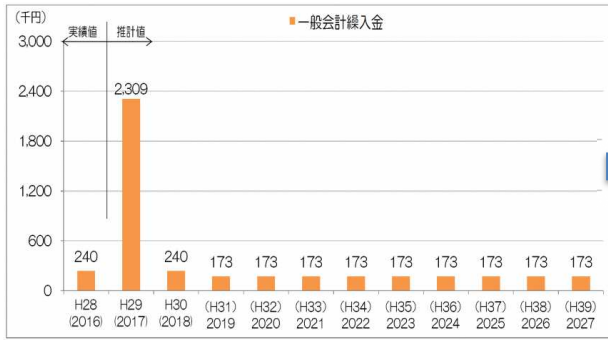


※H28年度比 約1億8千万円減（約38.4%減）

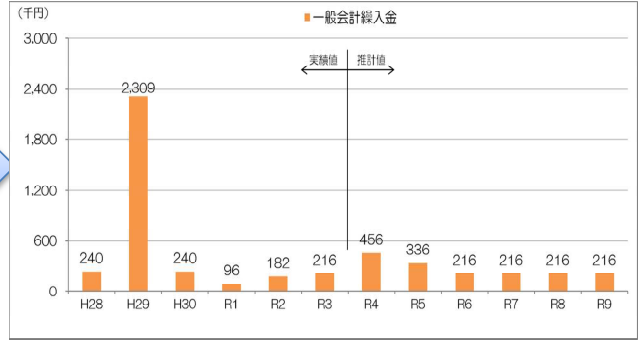
※H28年度比 約1億8千万円減（約37.3%減）

## 2.3 一般会計繰入金

「平成29（2017）年度の地方公営企業繰出金について」（総務副大臣通知）に基づく試算。

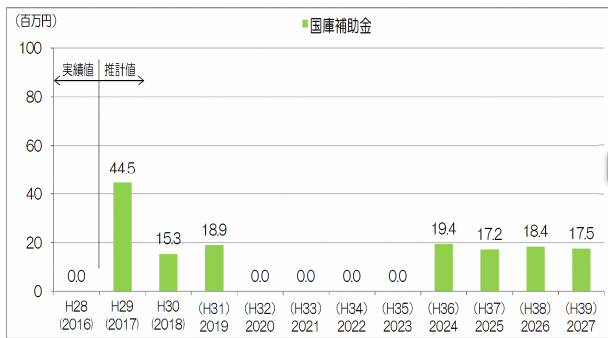


「令和4（2022）年度の地方公営企業繰出金について」（総務副大臣通知）に基づく試算。

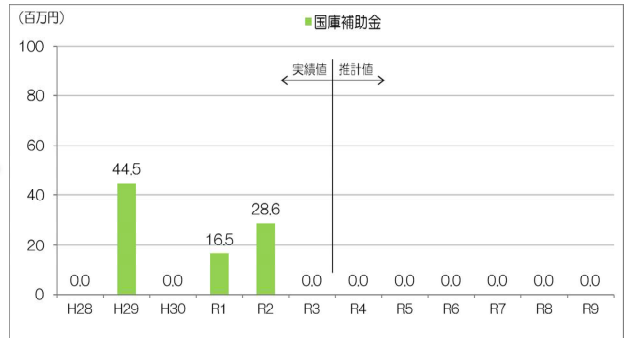


## 2.4 国庫補助金

現行の補助基準（「工業用水道事業費補助金交付要綱」）をもとに、補助対象事業費の2.5%として試算。



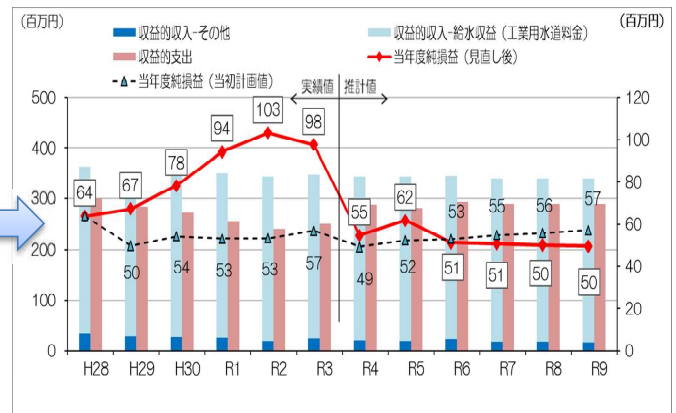
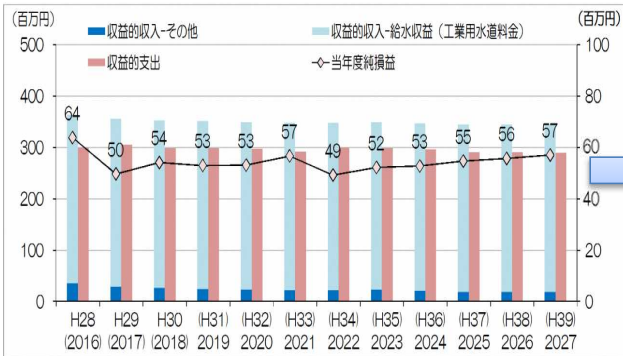
今後の更新では補助対象となる事業がないものとして試算。



## 3. 投資・財政計画（収支計画）

### ●収益的収支及び当年度純損益の見通し

○ 計画期間中は、純利益を確保 = 健全経営の維持



### ●自己資金（補てん財源残高）の見通し

○ 資本的収支の不足額に対する補てん財源として使用可能な自己資金は、計画期間中、約670百万円から約1,100百万円の間で推移するものと見込んでおり、将来にわたる工業用水の持続的提供に向けた施設の更新や耐震化に要する施設整備費の財源として活用することとしている。

